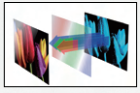
# 量子ドット技術で有機ELも液晶も

独自のディスプレイ技術と画像処理エンジンを持つ、シャープのアクオス。その最先端技術を盛り込んだ、新しい4K有機ELテレビのフラグシップ「FS1ライン」と4K miniLEDテレビ「EP1ライン」の魅力に迫ります。

だから高画質！
「QD-OLED 第2世代パネル」



量子ドット技術を採用した有機ELパネルで、純度の高い色再現が可能です。

4K有機ELテレビ

## FS1ライン

¥OPEN<65V型／55V型>

SPEC ●チューナー：BS 4K・110度CSデジタル4K×2、地上デジタル×3、BS・110度CSデジタル×3 ●パネル方式：有機EL ●画素数：3840×2160 ●音声実用最大出力：85W ●HDMI：4系統 ●外形寸法：1444W×894H×304Dmm(65V型／スタンド含む) ●質量：約40.0kg(65V型／スタンド含む)

VGP 2024 批評家大賞

VGP 2024 金賞
4T-C55FS1

### 有機ELでも液晶でも、これまでの概念を覆した

VGP審査員 **鴻池賢三**

薄型テレビの先駆者、シャープ。パネル駆動技術や画像処理エンジンを長年にわたって磨き上げ、蓄積してきた技術の厚さは、多様で幅広いラインアップにも見て取れます。

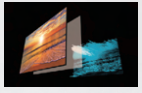
そんなシャープの新たな一手が、ノーベル賞受賞でも大きな話題になった「量子ドット技術」の活用。有機ELテレビと液晶テレビの双方を、それぞれの特長を活かしつつ、より高効率で革命的に明るく色鮮やかに昇華させ、画質の新時代を切り拓きます。

有機ELテレビ「FS1ライン」は、国内他社に先駆けて、量子ドット有機ELパネル「QD-OLED」の第2世代品を新たに採用していることが大きな特長です。「QD-OLED」は青色有機EL発光を利用し、量子ドットの波長変換を行うことで純度の高い緑色と赤色を得るので、明るさと色鮮やかさが特長です。従来「QD-OLED」が苦手としていた黒の沈みをシャープ独自の制御アイデアで克服しているのもトピック。夜空に打ちあがる花火の映像では、艶やかな漆黒を背景に、赤や緑といった色とりどりのスパークが原色の力強さを伴って爆発的と輝きます。

また有機ELテレビとして、映像の明るさが格段に増していることも注目です。従来の有機ELテレビは、外光が差し込む明るいリビングで見ると、相対的に「映像が暗い」といわれることがありました。旧来のブラウン管テレビやプラズマテレビと比べると圧倒的に明るいのですが、ハイエンド液晶テレビと比べると、相対的にそう感じるのも無理はありません。しかし、「FS1ライン」は大幅に進歩しました。第2世代「QD-OLED」パネル採用に加えて、発光の妨げとなる熱上昇を抑える独自の放熱構造「クールダウンシールドII」と、パネルの温度分布を解析し、発光量を緻密に制御する「クライマックスドライブ」回路により、明るく色鮮やかな発色を獲得。たとえばキューバの紀行映像では、強い日差しに照らし出されるパステルカラーのクラシックカーを、今までテレビ画面で見たことのない濃厚かつ心に残る色彩美で表現。画面上下に配置したスピーカーが織りなす上質なサウンドと併せて、高性能が評価され、批評家大賞が授与されました。

# 色鮮やかな映像をアクオスは高画質

だから高画質！
「アクティブ miniLED駆動」



高密度に敷き詰めたminiLEDをバックライトに使用。微細なエリアごとに分割駆動することで美しい映像を再現します。

VGP審査員
**鴻池賢三** *Kenzo Konoike*

4K液晶テレビ

## EP1ライン

¥OPEN<75V型／70V型／65V型／60V型／55V型>

SPEC ●チューナー：BS 4K・110度CSデジタル4K×2、地上デジタル×3、BS・110度CSデジタル×3 ●パネル方式：液晶 ●画素数：3840×2160 ●音声実用最大出力：85W ●HDMI：4系統 ●外形寸法：1442W×898H×304Dmm(65V型／スタンド含む) ●質量：約38.5kg(65V型／スタンド含む)

VGP 2024 金賞
4T-C70EP1
4T-C60EP1

液晶テレビ「EP1ライン」は、量子ドット技術とminiLEDバックライトを搭載したモデルです。映像の明るさとコントラストを高めるため、多数の高輝度LEDを敷き詰めて、1,000以上もの緻密な分割輝度制御を行うことで、ピーク輝度とコントラストを大幅にアップ。カラー表現は量子ドット技術を用いて、独自の新素材配合シートで赤色を中心に色域を拡大して、より明るく色鮮やかに。また、画像処理エンジン「Medalist S4X」により、8K映像技術を応用した超解像アップコンバート、AI技術を用いたコンテンツ毎の最適化、そして周囲の明るさや照明の色味などを検知する「環境センシング」によって、映像を自動で最適化。ハードとソフトの両方で知見を蓄積してきたシャープならではのアドバンテージが盛り込まれています。

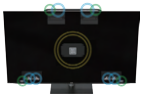
日中の非常に明るい環境にも負けないパワフルな輝度と色鮮やかな発色は圧巻。それでいて、木々の緑や肌の色がナチュラルかつ立体感を伴って感じられるのは、単に色を誇張することなく、ヒトの視覚特性を考慮して高度に最適化されたノウハウを感じる部分。暗闇の色再現や見通しのよさも、液晶テレビの概念を覆します。ハイトスピーカーを搭載するドルビーアトモスの立体音響も、音に包み込まれ映像の世界に惹きこまれるかのようです。

有機ELも液晶も、アクオスならそれぞれの特性を生かした高画質と高音質で最高峰のエンターテインメントが体感できるでしょう。

### FS1ライン／EP1ライン共通 高画質・高音質技術

**画像処理エンジン「Medalist S4X」**

シャープが独自に開発した、AIプロセッサーを搭載した画質処理エンジン。100万通り以上の映像を学習したAIが検知した情報と放送ジャンル情報を掛け合わせて、表示する映像の色彩や明暗、精細感などを自動調整する映像モード「AIオート」を採用しています。

**音響システム「ARSS+」**

画面の上下にスピーカーを配置することで、映像との一体感を追求した、シャープ独自の音響システム。音に包み込まれるような臨場感のあるサウンドが魅力です。(写真はEP1ライン)